

第67回日本リウマチ学会会長 候補者
(2023年4月開催予定)

注：年齢は学術集会開催年の4月1日現在満66歳未満である者
【1957年(昭和32年)4月2日以後生まれの者】

□ 田中 良哉 (昭和34年6月4日生)

産業医科大学医学部第1内科学講座 教授

推薦者：石黒直樹・堀内孝彦・川上純・三宅幸子・森雅亮

所 信：次頁掲載

略歴書：次頁掲載

業 績：理事会へ提出につき省略



令和 2 年 1 月 吉日

第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会会長への立候補における所信

産業医科大学医学部第 1 内科学講座教授

同・大学院医学研究科長

田中 良哉

令和 5 年 4 月に福岡市で開催予定の第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会の会長に立候補致したく、所信を述べさせていただきます。分野を超えてオールジャパンで取り組み、基礎と臨床で新知見を世界に向けて発信できるような魅力ある学会したいと思います。また、九州沖縄支部は年 2 回支部集会を行うなど活動的な地域ですが、17 年ぶりに本地区から会長を擁立するべく支部で一致団結して望む所存です。

日本リウマチ学会では、平成 17～23 年、および平成 25～31 年まで理事を務めました。また、平成 17～31 年まで専門医制度委員会委員長、平成 28 年から Modern Rheumatology Case Reports 編集委員会委員長、平成 31 年より国際委員会委員長、平成 27～31 年まで JCR 国際育成セミナー小委員会委員長、平成 29 年からリツキシマブ使用調査小委員会委員長、その他、倫理委員会など多くの委員を務めてきました。また、本学会の代表として APLAR に於いては、平成 28～30 年まで副理事長、平成 30 年から現在まで学術委員長を拝命しています。

第 67 回本学会総会・学術集会会長へ立候補させて頂くにあたり、上記のような本学会における活動などを礎に、以下の運営と方針を考えています。第一に、リウマチ学の目覚ましい発展に伴い、求められる知識や能力は飛躍的に高まり、専門医制度の変革に対応し、医療安全や医療経済まで幅広く、高水準のリウマチ医療が地方まで格差なく実践される必要があります。診療、研究に直結する教育を重視し、着実な発展を目指す内容を企画します。第二に、日本の独自性を担保しながらの国際化の推進が必要です。海外演者へのトラベルグラント、英語講演セッション、ACR, APLAR, EULAR との共同シンポジウムやセッションを充実して世界をリードできる体制を整えます。第三に、本学会のグローバルでの最大の強みである学際的協調性のさらなる推進です。基礎と臨床、内科と整形外科、小児と高齢者、新人とベテランなど、専門性を追求する他国にはない協調体制を堅固なものとし、独創的なテーマや概念の創出に繋がる素地を作りたいと思います。

以上、総会・学術集会会長への立候補における所信を述べさせていただきました。公正、的確な運営の継続、変革への柔軟な対応を重視し、バランス感覚と社会性、国際性を持って最大限に尽力する所存です。殊に、プログラム委員会や国際委員会のご指導、ご協力を頂きながら、皆様と共に全員で造りあげる学術集会となるよう努力して参る所存でございます。皆様のご支援・ご協力を頂戴して第 67 回学術集会全体を盛り上げたいと存じます。ご高配賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

略 歴

(令和2年1月現在)

氏名: 田中 良哉 (たなかよしや)

現職: 産業医科大学医学部第1内科学講座教授

住所: 〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

電話 093-603-1611 ファックス 093-691-9334 メール tanaka@med.uoeh-u.ac.jp

略歴:

昭和59年3月 産業医科大学医学部卒業

昭和63年3月 産業医科大学大学院医学研究科終了

平成元年7月 産業医科大学 医学部第1内科学講座 助手

平成元年9月 米国国立衛生研究所(NIH) 客員研究員

平成7年10月 産業医科大学 医学部第1内科学講座 講師

平成12年8月 産業医科大学 医学部第1内科学講座 教授

平成17年4月 産業医科大学病院 医療安全管理部長(兼任)、副院長(兼任、平成25年9月まで)

平成29年4月 産業医科大学大学院医学研究科長(兼任)

平成14~16年度 厚生労働科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業)「免疫難病のシグナル異常と病態解明・治療応用に関する研究」班 主任研究者

平成17~19年度 同・「免疫疾患の既存治療法の評価とその合併症に関する研究」班 主任研究者

平成20~22年度 同「関節リウマチの関節破壊ゼロを目指す治療指針の確立、及び根治・修復療法の開発に関する研究」班 研究代表者

平成23-25年度 同「関節リウマチの関節破壊機序の解明と関節破壊「ゼロ」を目指す治療法確立に関する研究」班 研究代表者

平成26-28年度 同「関節リウマチの「ドラッグホリデー」と関節破壊「ゼロ」を目指す治療法の確立に関する研究」班 研究代表者

平成27-28年度 日本医療研究開発機構免疫アレルギー疾患等実用化研究事業「関節リウマチの「ドラッグホリデー」と関節破壊「ゼロ」を目指す治療法の確立に関する研究」班 研究代表者

資格: 日本内科学会認定医、日本リウマチ学会認定医、日本リウマチ学会指導医

賞: 平成15年6月 日本骨代謝学会学術賞

平成20年4月 日本リウマチ学会賞

平成21年6月 欧州リウマチ学会賞 など

所属学会:

日本リウマチ学会

(平成9年6月より評議員、平成14年6月より学会雑誌編集委員、平成17年4月より平成23年7月まで理事、平成25年4月から平成31年4月まで理事、平成17年4月より平成31年4月まで専門医制度委員会委員長、平成31年4月より国際委員会委員長)

アジアパシフィックリウマチ学会(平成28年9月より平成30年9月まで副理事長、平成30年9月から学術委員長)

米国免疫学会

米国リウマチ学会

米国骨代謝学会

日本内科学会

(平成 29 年 4 月より平成 31 年 4 月まで理事、平成 30 年 4 月より平成 31 年 4 月まで九州支部代表、平成 13 年 4 月より評議員、平成 11～16 年:資格認定試験委員、平成 18～20 年:学術集会運営委員、平成 19～25 年:学会誌編集委員、平成 25～29 年 Internal Medicine 編集委員、平成 25～26 年生涯教育委員、平成 29 年より生涯教育委員会副委員長)

日本臨床免疫学会

(平成 8 年 9 月より評議員、平成 12 年 1 月から監事、平成 15 年 1 月から平成 18 年 12 月まで理事、平成 20 年 1 月から理事、平成 31 年 1 月から理事長)

日本骨代謝学会

(平成 13 年 8 月より評議員、平成 21 年 7 月から平成 27 年 7 月まで理事、平成 23 年 7 月から副理事長、平成 25 年 5 月から平成 27 年 7 月まで理事長、平成 29 年 6 月から副理事長)

日本インターフェロン・サイトカイン学会(平成 18 年 8 月より幹事)

日本炎症・再生学会 (平成 10 年 6 月より評議員、平成 19 年 4 月から理事)

日本シェーグレン症候群学会 (平成 22 年 9 月より理事)

日本臨床リウマチ学会 (平成 30 年 11 月より理事、平成 15 年 10 月より評議員)

九州リウマチ学会 (平成 9 年 6 月より評議員、平成 13 年 4 月より学会雑誌編集委員)

日本内分泌学会(平成 14 年 6 月より代議員、平成 15 年 6 月より評議員)

日本免疫学会 (平成 15 年 1 月より評議員)

日本骨粗鬆症学会 (平成 14 年 10 月より評議員)

産業医科大学学会 (平成 12 年 8 月より評議員)

日本糖尿病学会

日本癌学会

学会雑誌編集委員 (editorial board member):

- 1) Modern Rheumatology Case Reports (Chief Editor-in-Chief)
- 2) Rheumatology (Associate Editor)
- 3) Arthritis Research & Therapy(Associate Editor)
- 4) Cytokine (Associate Editor)
- 5) International Journal of Rheumatic Diseases (Associate Editor)
- 6) Journal of Bone and Mineral Metabolism (Associate Editor)
- 7) Inflammation and Regeneration (Associate Editor)
- 8) Lancet Rheumatology (International advisory board)
- 9) Annals of Rheumatic Diseases
- 10) Arthritis Care and Research
- 11) Rheumatic & Musculoskeletal Diseases (RMD) Open
- 12) Journal of Rheumatology
- 13) Journal of Receptors and Signal Transduction
- 14) Expert Review of Clinical Immunology
- 15) World Journal of Rheumatology
- 16) Modern Rheumatology (AE in 2007-2016)
- 17) Inflammation Research (AE in 2014-2018)
- 18) Internal Medicine (2013-2016)